

「つながぐ」～たじり一貫教育だより～ No.14

0歳から15歳の子どもたちが ともに学び、ともに成長する施設をめざして

令和7年度 第1回一貫教育準備委員会が開催されました！

0歳から15歳までの一貫教育を推進していくために、こども園、小学校、中学校の教職員が主体となって立ち上げた一貫教育準備委員会の第1回会議が5月20日（火）に中学校の体育館で開催されました。一貫教育審議会よりいただいた*答申について、池本校長先生より先生たちに報告されました。それを踏まえ、改めて「こども園・小学校・中学校が一体化した施設で教育することの良さや強みについて」グループ協議が行われ、校種を超えたそれぞれの発達段階による視点から活発に議論が行われました。

*答申➡



先生たちのご意見（一部抜粋）

- ・ これまでも計画的に交流してきた実感として、子どもの成長にプラスに働くと感じている。施設が一体化されることで、交流がよりやりやすくなる。
- ・ 同じ施設になれば、子どもの引継ぎや情報交換が日常的になり、よりよい支援が行えるし、効率的になる。
- ・ 園から小、小から中への接続が見えやすくなることで、ギャップが小さくなる。
- ・ 他の学年や年齢との交流が行いやすくなり、子どもにとっても先生にとってもプラスになる。
- ・ 施設が一体化され、多様な考えに触れやすくなることは、子どもたちの成長につながる。
- ・ これまで地域で行われてきた異年齢の交流が減退している現状を踏まえると、施設を一体化させ子どもたちの自然な交流を生まれやすくする意義は大きい。
- ・ 災害時の体制が強化され、対応しやすい。日ごろからともに過ごすことで助け合う心が育まれる。
- ・ 教員間のコミュニケーションが図りやすくなり、子どもたちへの指導力アップにつながる。
- ・ 教員全体で15年間見守っていくという意識がより高まる。

これからも園・小・中の
「つながる」取り組みを
発信していきます！



園・小・中の取り組みは
こちらのQRコードから
ご覧ください。ホームページ➡

